

J R 東海労申第 1 0 号
2 0 2 2 年 1 2 月 1 9 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海労働組合
中央執行委員長 木下 和樹

新型コロナウイルス感染防止対策の強化に関する申し入れ

新横浜駅の社員が新型コロナウイルスに感染していることが分かったため、同日、業務を共にした社員が新型コロナウイルスの検査を要請した。しかし検査キットの常備はなく、さらに「会社としては用意しない」との対応であったため社員が自費で検査キットを購入し、検査を行う事態が発生した。さらに、「濃厚接触者ではない」として購入費は支払わないとしたのである。

本来なら、駅など多くのお客様と接する業務を行っている社員に対し、新型コロナウイルスに感染した可能性がある場合は、会社が率先して検査を行い少なくとも陰性を確認した上で業務指示をすべきである。

多くの旅客と接する駅業務の職場において、いまだに新型コロナウイルス検査キットさえ常備せず、購入費用も自己負担とする対応はあってはならない。

従って、下記の通り申し入れるので、早急に団体交渉を開催し誠意をもって回答すること。

記

1. お客様と社員の健康・生命を守る責務において、全ての職場に、新型コロナウイルス検査キットを早急に常備すること。
2. 自費で購入した検査キット代金を社員に早急に支払うこと。

以 上